



新年のご挨拶

群馬県中小企業団体中央会

会長 吉田 勝彦



令和7年の新春を寿ぎ、謹んでご挨拶を申し上げます。旧年中は、皆様のご理解、ご協力により中央会事業も順調に取り組むことができました。心より感謝申し上げます。

昨年は、「近代日本経済の父」と称される渋沢栄一翁の新紙幣が発行されました。我々経営者にとって氏が説いた「論語と算盤」は、企業を永続的に成長発展させる要諦であり、今こそ必要な精神であろうと思います。

さて、国外に目を向けますと、各地で紛争が勃発し、アメリカではトランプ政権が再び誕生し、米中関係の悪化による保護主義的政策による貿易への影響、サプライチェーンの混乱等、地政学リスクが懸念されています。

国内においても、個人消費や人手不足を背景とする設備投資意欲の高さが景気を下支えするとの見方があるものの、原材料・エネルギー価格の高騰、深刻化する人手不足、金利の上昇等、厳しい経営環境にあり、とりわけ中小企業・小規模事業者にとっては、価格転嫁が進まない中での賃上げ、生産性の向上、事業承継問題等への対応が急務となっています。

このような課題山積の中、多くの中小企業・小規模事業者は、中小企業・小規模事業者を面で支える中小企業組合を活用し、共同購買や受注、共同販売等の共同経済事業を行うとともに、自然災害対応やインフラ点検活動、地域コミュニティづくりや地域自体のブランディングなど幅広く地域に関わった事業を展開しております。そして、価格転嫁のための交渉や、人材確保・定着のための業界PRといった喫緊の課題から将来に向けた業界の研究など、多くの課題解決に組合・業界をあ

げて取り組んでおります。

当会としても、会員組合・組合員企業の皆様の活動を支援しながら、価格転嫁対策、取引適正化を最重要課題として改善を要望して参りました。7月には、経済産業大臣に「取引適正化及び適正な価格転嫁の実現に向けた支援の拡充」「中小企業組合が中心となる受け皿となる施策の展開」等を直接要望いたしました。また、12月には、公正取引委員会との懇談会においても、下請取引の具体的な事象等を報告しながら、一層の取引適正化の監視強化を訴え要望したところです。

令和7年においても、群馬県や関係機関と連携を図り、中小企業連携組織の専門支援機関として、組合運営及び組合員企業の課題解決の支援を柱に、ものづくり補助金、省力化投資補助金による県内企業の生産性向上、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応、そして、価格転嫁については引き続き、事業の継続を左右する最重要課題として、実現に向けた取組みを行って参ります。

結びに、本年が皆様にとりまして実りある輝かしい一年となりますことを祈念申し上げますとともに、困難な時期こそ、将来に向けた多様な知見を持ち合う組合の力が存分に発揮されることを期待し、新年のご挨拶といたします。

令和7年元旦



新年のご挨拶

群馬県知事 山本 一太



明けましておめでとうございます。

群馬県中小企業団体中央会の皆さまには、健やかな新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。年頭にあたり、改めて気持ちを引き締め、県政の基本政策として掲げている「県民幸福度の向上」「新群馬の創造」「群馬モデルの発信」の実現など、新・群馬県総合計画の推進に全力を尽くしていく所存です。

昨年は、選抜高校野球大会で高崎健康福祉大学高崎高校が群馬県勢初の優勝を果たしました。またパリオリンピック・パラリンピックでは、群馬県ゆかりの選手たちがメダル獲得や入賞など、大きく活躍しました。若者たちの活躍が私たち県民に勇気と大きな感動を与えてくれた1年だったと思います。

県政においても、県立小児医療センターの群大病院隣接地への移転決定や移住者希望地ランキング全国2位への躍進、信越化学など企業の大規模投資案件が数々決定するなど、群馬県が大きく飛躍する1年となりました。

今年は、将来の新たな富の創出に向け、「製造業」と並ぶもう1つの産業として、群馬県独自のコンセプトである「デジタル・クリエイティブ産業」の創出を目指します。この産業の振興は、県内の幅広い産業の発展にもつながる、大きな可能性をもっていると考えています。

また子どもたちの非認知能力の育成やインクルーシブ教育の普及、多文化共生・共創の推進、医療提供体制の拡充や福祉施策のさらなる充実、災害レジリエンスの強化や安全安心を支える社会基盤整備など、県民の皆さまに身近な施策を着実に進めてまいります。

さらに、「ぐんまフラワーパーク」のリニューアルオープンや、アジア初となるデジタルクリエイティブ人材育成施設「TUMO Gunma」のオープンも控えています。これらの施設がオープンした後、多くの皆さまに利活用いただけるよう全力を尽くすことをお約束します。

知事就任以来、限られた資源で最大限の効果をあげる「ワイズスペンディング」を実践してきました。引き続き県民の皆さまとの対話を大切に、広くご意見を伺いながら、民間リソースの活用や、自ら「稼ぐ」施策、デジタル化による行政改革などを積極的に進めます。それによって財源や人的資源を生み出し、新たな富の創出に向けた未来への投資や、持続可能な成長の促進、ひいては県民幸福度の向上につながる取り組みに集中させていきます。

皆さまには、中小企業の経営基盤強化や多様化する経営課題の対応等を通じて県内企業の振興発展のために絶えずご尽力いただいております。県としましても、県内企業の活力が最大限発揮されるよう、皆さまとしっかり連携し、群馬県経済のさらなる活性化に取り組んでまいりますので引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆さまにとって幸多き素晴らしい1年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和7年1月1日



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震、8月の集中豪雨等、自然災害に見舞われる年となりました。被災者の方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、全国中小企業団体中央会といたしましても自然災害の復旧・復興支援に引き続き全力で取り組んで参ります。

さて、国内経済に目を向けますと、深刻化する人材不足、持続的な賃上げ、労務費等の価格転嫁の遅れ、事業承継問題など、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しい状況に直面しております。

こうした中で、昨年10月24日に福井県福井市で開催した第76回中小企業団体全国大会では、全国各地から中小企業団体の関係者約2千名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の環境変化対応、成長促進支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、組合関係者の皆様と共に取り組んでいくことを決議し、その実現に向け精力的に陳情活動を行って参りました。

その結果、大会決議の主な要望事項が、令和6年度補正予算等による「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に盛り込まれたところであり、その早期かつ速やかな実行に向けて、本会においても施策の広報と活用促進に努め

ております。

地域の人口減少に加え地域課題が多様化・複雑化することを踏まえつつ、物価高を上回る賃上げ、デジタル化の推進、ものづくり補助金や省力化投資補助金による生産性向上、リスクリング等の「人への投資」、外国人育成就労制度・特定技能制度への対応、事業承継・事業引継、大阪・関西万博などの最重要事項については、連携組織による知恵と力の結集により解決を図ることが必要です。今年も、会員の皆様との連携を一層強化し、伴走支援を図って参ります。

結びに、令和7年の乙巳の年は「努力を重ね、物事を安定させていく」といった意味合いをもつ年とされています。本年が、中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様のご成長へのご努力が実を結ぶ年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年元旦





新年のご挨拶

株式会社商工組合中央金庫 前橋支店

支店長 福岡 仁志



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要により経済活動が正常化に向かう一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりや為替変動、金利上昇、人手不足等、国内外の経済の先行きに不透明感が大きく高まりました。また、産業構造の変化に伴うビジネスモデルや商流の変革、業界再編等への適応、カーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。

私ども商工中金においては、2023年6月に商工中金法の改正法案が国会において成立し、本年6月までに施行が予定されております。改正法では、商工中金の業務範囲が見直される一方で、株主資格制限や特別準備金制度、危機対応業務の責務など、必要な各種の措置は維持されることになっております。

社会情勢や中小企業の経営課題が大きく変化する中、商工中金法改正の趣旨を踏まえ、企業理念（パーパス）である「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくなる。」の実現に向け、中長期的に中小企業が直面する経営課題を踏まえ策定した中期経営計画に基づき、より踏み込んだサポートに取り組むこととしております。

具体的には、主要戦略として「サービスのシフト」、「差別化分野の確立」、「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客さまに対して様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を発揮し、変化につよい企業経営を

お客さまとともに実現してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンス意識の定着化や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進に取り組み、持続可能なビジネスモデルに向けて邁進してまいります。

私ども商工中金は、群馬県中小企業団体中央会様や中小企業組合の皆さまと積極的に情報交換・連携を図りながら、群馬県の社会・経済の発展に微力ながら尽くしてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして新たな成長への飛躍となる一年となりますことをこころよりご祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

令和7年元旦

